令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験　専門科目
教育科学専攻　教授学習科学プログラム　教授創成科学コース　英語教育学分野

出題の意図等

英語教育学分野では，学校教育の教育内容や教育方法に関する基本的な専門的知識・技能を共通の基盤としつつ，自身の研究課題に取り組むための専門的知識・技能を有する人材を求めている。それぞれの問題における出題の意図等は，下のとおりである。

なお，本科目の問題は一義的な解答が示せない記述式の問題に該当する。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため，解答又は解答例の記載は省略する。

Ⅰ

教育における重要な概念について，英語教育の観点から論じることを求める問題である。

（解答のポイント）出題された項目について，英語教育の特徴を踏まえて捉え直し，具体的な教育活動や指導内容について論じられているかを評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

Ⅱ

英語教育学に関する知識，研究法，現実場面への適用力を見取る問題である。

（解答のポイント）英語教育で頻繁に使用される基本的な専門用語の知識及びそれらの説明力，英語教育に関する学術論文の読み取りや研究デザイン立案に必要な力，英語教育に関する事象を背景と関連させて適切に論じる力，英語教育に関する重要概念を実際の英語教育場面に適用する力が身についているかを評価する。

Ⅲ

テクスト・タイプに関する研究や言語学における重要概念について，英語教育の観点から論じることを求める問題である。

（解答のポイント）出題された項目についての正確な知識を有しているか，英語教育との関連性や英語教育における活用について適切に説明されているかを評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

Ⅳ

文学または文学的表現に関する英文を読解し，専門用語や重要概念について，日本語及び英語で記述することを求める問題である。

（解答のポイント）「作者」や「意味」や「解釈」等に関する英文を読み、その内容を正確に把握する力を測るとともに、「文学とは何か」をめぐるさまざまな考えや意見を比較させながら読み解く力を測る。